Nagoya Noh Theater
March 2018

名古屋能楽堂 三月定例公演

平成30年
3月3日(土)
14:00開演(13:30開場)
◆13:45～開演前ショート解説があります◆

前売券発売12月26日(火)

狂言

「止動方角(しどうほうがく)」(和泉流)
シテ 今枝 郁雄

能

「巻絹(まきぎぬ)」(観世流)
諸神楽
シテ 久田三津子

能「巻絹」撮影：瀬野雅樹

名古屋能楽堂 開館20周年記念

【能楽師が20周年におくる能・狂言20番】

小さな頃から祖父や父が稽古をしているところを見ていましたから、自分の中に自然に能が入ってきました。それ故に「ワキとは何か」というようなことは考えたこともなく、ワキという役を演じているだけです。シテの位や調子を聞いてそれに合わせて、シテの雰囲気を盛り立てるのがワキの役目になります。ただ、最初に舞台に登場するのがワキですから、ワキの謡い方ひとつで舞台の雰囲気が決まるといっても不思議はない、そういう気持ちで舞台に臨んでいます。初舞台から五十年余り経ちますが、どのようなワキが理想なのかを、未だ追い求めている状態です。

【高安勝久　ワキ方高安流】

新作能面を披露します

福井県池田町の「第15回 全国新作能面公募展」において、秀作の能面「松風」(作者：早坂泰子さん/愛知県)を本公演の能「巻絹」のシテで使用します。

ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に今澤美和師製作『作り物ミニチュア』(1名)他 能楽グッズをプレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。

主催 公財団法人 名古屋市文化振興事業団［名古屋能楽堂］　公益社団法人 能楽協会 名古屋支部

Nagoya Noh Theater

名古屋能楽堂　三月定例公演

◇開演前ショート解説
（午後一時四十五分から午後二時）
『巻絹』について　久田勘鷗

狂言　止動方角（和泉流）

シテ	太郎冠者	今枝　郁雄
アド	主人	佐藤　友彦
アド	伯父	井上松次郎
アド	馬	大橋　則夫
後見		鹿島　俊裕

休憩十五分

能　巻絹　諸神楽（観世流）

シテ	巫女	久田三津子
ツレ	都の男	久保信一朗
ワキ	臣下	高安　勝久
アイ	従者	鹿島　俊裕
笛		藤田八郎兵衛
小鼓		後藤嘉津幸
大鼓		河村総一郎
太鼓		加藤　洋輝
地謡		伊藤　裕貴
		吉沢　松山　幸親
		八神　旭　祖父江修一
		本田　孝充　久田　勘鷗
		勲　清沢　一政
後見		瀬戸　洋子
		今澤　美和

（午後四時頃終了予定）

【イヤホンガイド】
◆能「巻絹」
日本語／米田真理（朝日大学経営学部教授）
英　語／古屋弓子（能楽イヤホンガイド名古屋）
都合により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

◇狂言解説「止動方角」（しどうほうがく）

茶競べに出掛ける予定の主人は、太郎冠者（召使）に伯父のところへ行って、茶道具をはじめ太刀や馬など、あれこれと借りて来るよう命じます。

やむ無く訪ねた太郎冠者に、伯父は所望の数々を貸し与えますが、中でも所有の馬には悪い癖があって・・・。

茶競べ（茶比べ・茶較べ）とは、茶の風味や品質・産地・銘柄などを飲み分けて当てる茶会の一種で、鎌倉・室町時代に流行した「闘茶」とも言い、旦那衆の遊びの一つでした。本曲では、道具一式からして借用せねば成り立たない見栄っ張りで強情な主人に対し、日頃から何かと振り回される哀れな太郎冠者の葛藤と、痛快な抵抗が見どころとなっています。

また曲名「止動方角」とは、馬を落ち着かせるために唱える呪文「寂連童子、六萬菩薩。鎮まり給へ、止動方角。」に因るものです。

（井上菊次郎）

◇能解説「巻絹」（まきぎぬ）

何時の頃か、我が国の朝廷から全国に命が下って、千疋（せんびき）の巻絹（多分、絹の布地であろう。絹は貴重な品であった筈）を熊野の神に供えることとなった。都からも一人の男（ツレ）が巻絹を持って熊野へと向っている。熊野へ来て、美しく冬梅の咲いている神域で「音無にかつ咲き初むる梅の花、匂はざりせば誰か知るべき」と和歌を詠んで、心に念じ巻絹を熊野の地の役人（ワキ）に届けたのであったが、期日におくれたため、縄でしばられてしまうこととなった。そこへ神に仕える巫女（シテ）があらわれ、その縄を解いて、男を解放したのだった。縄を解き放つ理由としては、「音無にかつ咲き初むる梅の花…」の和歌を詠んで神慮に手向けた故であった。この巫女には神がのり移っていて、巫女の言葉は実は熊野の神の言葉であった。この能において、以上が具体的な話の進行であり、後半部は、この前半部の話をふまえて、「和歌の徳」が抽象的に述べられ、そのあとシテの神楽の舞となり、時として狂ほしく舞うのであったが、この巫女にのり移っていた神は、巫女から離れてしまい、巫女は狂いが覚めて「本性にぞなりにける」の句によって能は終了する。

我が国において、和歌は民族の美的、知的に崇敬の対象となり、又その象徴ともなる存在であった故に、このような能が多く創られたのである。

このことについてはヨーロッパの民族についても同様な類型があろう。

小書「諸神楽（もろかぐら）」について。一般に能における「神楽」の舞は、前半が神楽の楽が奏され、後半は「神舞」となるのが基本であるが、この小書きによる「神楽」は最後まで神楽の楽によって奏されることを示している。「諸神楽」の「諸」は「総」の意と考えてよいのではないか。

（泉　嘉夫）

三月定例公演事前学習講座

2月17日(土)　14：00～15：30

［受講チケット］三月定例公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「巻絹」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金（税込み）　＊前売券発売日 平成29年12月26日（火）

	指定 Reserved	自由 Non reserved plus ¥500, on tha day	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	4,100円	3,100円	2,100円

＊学生券は25歳以下を対象とします。

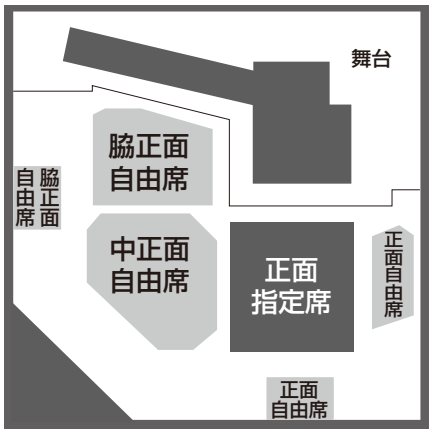
＊当日券は自由席のみ500円増となります。

＊事業団友の会会員（前売のみ）、障がい者手帳等をお持ちの方（付添１名含む）、事前学習講座とのセット券同時購入は１割引。
（名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。）

＊上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。＊未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所　Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088（チケット郵送可）
名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387
（平日9:00～17:00／チケット郵送可）
＊名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口＜土日祝日も営業＞でもお求めいただけます。
中京テレビ事業／TEL.052-588-4477
栄プレチケ92／TEL.052-953-0777
チケットぴあ／TEL.0570-02-9999 (Pコード 483-069)
＊お近くのセブンイレブン、サークルＫサンクスでもお買い求めいただけます。
＊外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも１割引きします。（名古屋能楽堂取扱いのみ）
To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)



＊地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中！
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385

●イヤホンガイド　演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。（日本語／英語）Noh performance Guide／Rent-free for a wireless headset（Japanese／English）

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088 FAX.052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp

このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。